

# はばたき

橋北小学校  
学校だより  
No.29  
H29. 12. 22

## ◆一年をしっかりと振り返り、新しい年へ！

いよいよ明日から冬休みです。今年は、17日間のお休みですが、年末年始のあわただしさの中で、あっという間に終わってしまうかもしれません。そこで、学習面では、あまり欲張らない計画を立てて、やり通したという実感を味わうことを大事にしてほしいと思います。生活面では、家族の一員として、家の仕事の役割を決めて、毎日実行できるといいですね。



2学期は、子どもたちのよいところをたくさん見させていただきました。学級で力を合わせたり、友だちを励ましたり、頼もしく成長した姿が見られました。しかし、うまくいかなかったことやつらいこと、悲しいことなどもあったと思います。反対に、楽しかったことやうれしかったこと、みんなで協力してがんばったこと、自分の力で乗り越えたことなどを自分の記憶にしっかりとどめて、一年を振り返り、新しい年に向けての決意や目標を立ててほしいと思います。



子どもたちの未来は、無限の可能性を秘めています。新しい年は、その可能性に向かってはばたく年になってほしいと願っています。

2学期も地域の方々をはじめ、保護者の皆様には学校教育活動に対して、ご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

どうぞ、よいお年をお迎えください。

## ◆ご家庭へのお願い

【その1】キレイなまちにしよう！『橋北』の標語づくりについて

本地区では、社協主催で毎年9月と3月に「一日清掃 day」を実施し、清潔で気持ちのよいまちづくりを進めてみえます。今回は、3月11日（日）に予定されており、地区市民センターでは、この「一日清掃 day」に向けて、自分たちの住んでいるまちを美しくするための標語を募集しています。

この地区には「元気よくあいさつしよう」と「ごみを見つけたら拾おう」という共通の目標があります。昔からきれいなまちづくりに取り組んでみえた地域であると感じています。学校といたしましても、きれいな地域の中で子どもたちが育ってほしいと思っています。

そこで、子どもたちの地域美化への関心や意識を持つための機会になればと考え、標語づくりを冬休みの宿題にしたいと思います。詳しくは先日配付させていただきましたプリントをご覧ください。ご家庭で、お子さんと一緒に考えていただければと思います。よろしく願いいたします。

一句以上何句でも構いません。1月9日に担任までご提出ください。



## その2 ケータイ・スマートフォンの安全安心な利用を！



11月に四日市市より「安全で安心なネット利用のために」～親子で考えようケータイ・スマートフォンの正しい使い方～ というケータイ・スマートフォン安全安心利用啓発リーフレットが配付されました。

休みに入りますと、普段以上にスマホ等を使ってオンラインゲームなどを楽しむ機会が増えるのではないのでしょうか。

生活の中でネットは欠かせないものになっていますが、便利な反面、ネット依存・ネット被害・SNS等のトラブル(いじめなど)・見知らぬ人との出会いなど、危険と隣り合わせの部分を持っています。

ご家庭におかれましては、お子さんがいつ、どのような危険に巻き込まれるかわからないことを認識していただき、携帯電話やスマートフォンをどのように使っているのか把握していただきたいと思います。使用にあたっては、前述のリーフレット等を活用して、約束ごとを決めていただくことが大切だと考えます。

前述のリーフレットや「マンガでバッチリ ゲームの安心・安全ブック」(配付済み)にまずしっかり目を通してくださいますようお願いいたします。

## ◆いじめ防止への取り組み

11月のいじめ防止月間に全校で、いじめ防止の標語やポスターに取り組みました。その中のいくつかは職員室の掲示板に掲載してあります。そのうちの一部を紹介します。

- ★わるぐちは いじめのはじまり きをつけよう
- ★ネットいじめ ぜったいやめろ わるぐちを
- ★「やめなよ」あなたの一言、その勇気がだれかの希望につながります
- ★言葉だけでいじめは終わる？ 行動しなきゃ終わらない
- ★ごめんねで こころのきずは なおせない
- ★「ぼく知らない」「わたしじゃない」そんないいわけつうようしない
- ★「やめようよ」 いえない心と もうおわかれ
- ★わたしとあなた みんなちがって あたりまえ
- ★たすけてと いえない人もいる きづいてあげて
- ★めざそうよ たのしくかよえる しょうがっこう



いじめは、子どもたちの生活のなかで見逃してはならない問題です。学校でも、見落としがないように最善の努力をいたしますが、いじめのない学校にするため、ご家庭との連携は不可欠です。

子どもたちには、「周りの人を思いやる気持ちを持ち、その気持ちを形として表していくことが大事である」ことや、「周りの人を大切にすることは、何より自分自身を大切にすることである」ことに気づいてほしいと願っています。

